

北関東に位置する群馬県前橋市。個人的にゆかりがある土地で、前橋の歴史はとても興味深いです。

しかし普段は仕事でしか行くことが無く、ゆっくり観光したことがなく、これはこれでさみしいことでもあります。そんな中、今回も仕事で前橋に行く機会があり、群馬のソウルフードと称される『登利平』でランチをいただきましたので、ご紹介したいと思います。

店の正式名称は『上州御用 鳥めし本舗 登利平』。今回いただいたのは『かわつけめんそばセット』です。お値段は950円。セットのごはんは、鳥めしとソースかつ付きがあり、わたしは鳥めしを選びました。鳥めしとかわつけ麺蕎麦、すべてが絶品でつけ麺のおつゆを一滴残らず飲み干してしまうほどです。

個人的にいろいろな方へお勧めしているお店です。今年は2回行くことが出来ましたが、またいつか行けたらいいなあと思います。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

皆様いかがお過ごしでしょうか。最近はずっと短く感じるようになってきましたが、秋が深まってきました。東海地方には愛知県の『香嵐渓』など、いくつか紅葉の名所があります。今回は『水沢もみじ谷』という、三重県四日市にある名所をご紹介します。

水沢は、江戸時代は菟野藩の領地で、藩主ももみじ狩りを楽しんでいたようです。加えて、猿丸太夫がこの地で詠んだとされる『奥山にもみじ踏み分け鳴く鹿の声聞く時ぞ秋は悲しき』という歌は、百人一首に選ばれています。遺跡として歌碑も建っており、昔から紅葉の名所として親しまれていました。

それだけでなく、この辺りは伊勢茶の産地でもあります。周辺には冠山茶の木原という史跡や、四日市市営のキャンプ場などもあります。水沢の紅葉の見頃は、11月下旬から12月上旬となっていますので、この時期にもみじ狩りへ足を運ばれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-



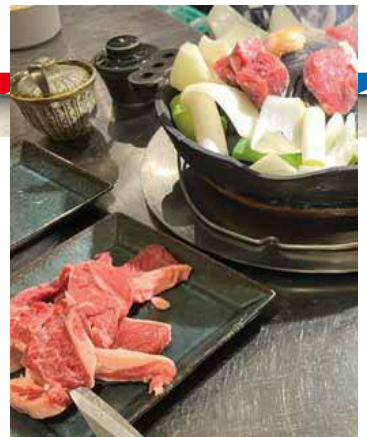
北海道ではいよいよ降雪シーズンを迎えるため、道民は準備に入っています。私ももちろん車を冬用タイヤに履き替え、準備万端です。

さて、皆様は札幌と言えば一番はラーメン、次に思い浮かぶのはジンギスカンではないでしょうか?札幌市民も同じどころかメチャクチャ大好きです。特にジンギスカンは、北海道で焼肉と言えばジンギスカンを指すほど。私もこちらへ来てからジンギスカンを色々食べ歩きましたので、個人的な好みでお店をご紹介します。

最初は一番ポピュラーで店舗の多い『松尾ジンギスカン』。ケセも無く、食べやすくメニューも豊富です。

お次はすすきのにある『炭火兜ひつじ』。こちらは牧場から羊を一頭まるごと仕入れており、席に着くとその日のおすすめ部位をボードで紹介して頂き、注文するスタイルです。どの部位も美味しくいただけますが、ジンギスカン初心者には良い意味でケセをそれなりに感じる事が出来ます。

最後はTV・雑誌でもよく紹介されている『成吉思汗だるま』です。良く紹介されているので実はどうかと思っていましたが、程よく羊を感じられ、それでいてケセがなく本当に美味しかったです。肉の種類はジンギスカン・ジンギスカン上・ヒレとシンプルに三種類ですが、どれも初めての人でも美味しく食べる事が出来るので私の一番のおすすめです。機会があればぜひ食べて下さい。



札幌営業所(所長:利川 光浩)

道の駅やサービスエリアは観光だけでなく、平日はトイレ休憩施設としても必要ですね。

兵庫県姫路バイパスにある姫路SAはいつも満車で大賑わい...と思っていたら大半が迷惑駐車だった模様。私もたまにトイレに行こうと立ち寄りますが、広い駐車場にも関わらず、毎回一台も空きがありません。ここにはトイレ、コンビニ、うどん店がありますが、ここまでの人は見当たらないなと思っていました。

このSAはバイパスだけでなく、一般道からも出入り自由と使い勝手が良すぎたせいで、平日は仕事、休日は釣りなどで相乗り駐車をしていくクルマが多いとの事。昨年『相乗りの為の駐車はヤメテクダサイ!』の看板がありましたが、一向に長時間駐車が無くならず、結果9月に一般道から進入出来ない形態へと工事が行われました。

工事後には駐車台数が激減したようで、1ヵ月経っても余裕で駐車が出来ます。ちゃんとトイレ休憩施設として復活。トイレが近い私としては助かります。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

すっかり日が短くなりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。季節の変わり目ですので、くれぐれもご自愛ください。

さて、気温も落ち着き、食欲の秋も到来しましたので、久しぶりに友人と釣りに行ってきました。場所は福岡県糸島市志摩町の岐志漁港から船で5分ほどのところにある釣り筏です。当日の潮は『小潮』。若干流れは良くないですが、そこは気持ちでカバー(?)ということで、サビキ釣りを開始しました。

当日は寒気による低気圧の影響で風が強く、気温も上がらない日でしたが、前日までの残暑の気分が抜けておらず、私も友人も意外に薄着...。おまけにスタートが9:00というマズメはとうの昔に終わっている時間...。待てど暮らせど魚のアタリなんかはありません。「天気が良くて、潮風が気持ちいい~」などと言う余裕もあるわけが無く、釣れない、寒いでほぼ修行僧のようです(笑)。回遊待ちの鰻を何とか釣ったり、友人がサビキでエイを釣るなどのハプニングがあったりと、なんだかんだ楽しい4時間の釣行でした。

ちなみにこちらの筏釣りですが、サビキ釣りはもちろん、フカセ釣りでチヌ(クロダイ)やクロ(メジナ)、ジギングではサゴシやタチウオ他、かなり魚影の濃いポイントとしても有名な場所です。また筏釣りなので、足場も安定して釣りが楽しめるので、家族向けでもあります。釣りをした帰りに、隣接のカキ小屋で海鮮焼きを楽しむというプランも可能です。よろしければ一度チャレンジしてみてください。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

インドネシア全地域、特にジャカルタ辺りの地域は、先月まで長い夏を過ごしていました。

昼になると気温は38~40℃くらいまで上昇。住んでいる団地の公園では、芝生が焼けたような色に、高速道路では完全に燃えてしまったようで草が黒色になっていました。そのぐらい長い間、夏が続いていました。

天気予報では10月に降水予報が出ていましたが、結局雨は降りませんでした。

そんな10月に友達とゴルフに行く機会がありました。通常のフェアウェイには芝生があり、ボールを打ちやすいエリアのはずですが、その時は大部分の芝生が枯れており、打つのにとても苦労しました。さらに池からは水がなくなっており、全体的に厳しい暑さにやられたのだと感じました。

11月初めからは少しずつ雨が降り始め、緑色の草を見かけるようになりました。10月と同じ場所でゴルフをした際も、少しマシになった芝生のおかげでボールが打ちやすくなり、楽しくプレイすることが出来ました。

雨期は通常、年末辺りから4月までですが、従来の通りに雨が降れば公園も少しずつ元に戻り、綺麗になるのではないかと期待しています。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

~発売初日に20億!~

一本6万円の高級白酒入りコーヒーはいかが?白酒はアルコール度数が45~60%と非常に高い中国発祥のお酒です。中でも茅台酒は最も高級とされ、1本3,000元(約6万円)と非常に高価で、日中国交正常化の席では田中角栄総理大臣と周恩来首相が飲んだお酒です。

しかし、若者の飲酒に対する嗜好も変化しており、白酒などの度数の高いお酒の若者離れが懸念されています。

茅台酒はブランドの若返りを目指し、中国最大のコーヒーチェーンのLuckin coffeeとのコラボ商品を9月に発売しました。『醬香(ジャンジャン)ラテ』の商品名でデビューした白酒入りコーヒーです。

発売初日には20億円の売上で記録的なヒットとなりました。各店舗に客が殺到、瞬時に売り切れSNSでは話題を独占しました。発売後も1か月は連日売り切れ。先日、話のネタに私も遅ればせながら、一杯買ってみました。価格は38元(760円)。結構いいお値段です。お味は…後味にほのかに白酒の香りがし、好みが別れるところかも。機会があれば是非お試しを。

他にも蒙牛社とのコラボで高級アイス、さらにチョコレートメーカーのDove社との共同開発で茅台酒入りチョコレートなども出しています。異業種コラボが中国の若者世代をひきつけ、ロングヒットとなるか注目です。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

皆さまいかがお過ごしでしょうか?日本は一年で一番過ごしやすい時期を迎えている事と思います。四季のある日本は、紅葉や秋の味覚も楽しみです。

秋と言えば他の季節より多くの変化があり、色々な言葉で形容されますよね!食欲の秋、スポーツの秋、芸術や読書の秋などなど…。アメリカでも多くの地域で秋を楽しむことができます。しかし、ここ南カリフォルニアではあまり季節を感じる事はありません。朝晩は少し寒くなりますが、日中は毎日青空で、気温も25℃~30℃くらい。時々30℃を超え、暑を感じる時もあります。

一年中同じような天候が続く南カリフォルニアで、季節の変わり目を感じる瞬間はハロウィンなどの行事でしょうか!?紅葉はしなくても何となく街が秋色に変わります。家の中や外にカボチャのランタンを飾るのが習慣で、パンプキンパッチ(カボチャ狩り)も楽しみの一つです。日本のように秋の味覚は多く

ありませんが、アジア系住民が多いのでスーパーでは松茸や柿が店頭に並ぶ事もあります。

そしてこの時期のアメリカで一番季節を感じるの、やはりスポーツではないでしょうか?この季節は様々なスポーツが一斉に盛り上がります。残念ながら日本人の所属するチームは出場していませんが、MLBではプレーオフやワールドシリーズが始まったり、週末になればカレッジ、プロの両方で人気の高いNFL(アメリカンフットボール)があつたりと大忙しですし、日本でも盛り上がっているNBA(バスケットボール)も開幕しました。今年は八村選手の所属するLALakerズに期待しています。そしてNHL(アイスホッケー)もシーズンがスタートしたことにより、4大スポーツが同時に行われています。

皆様の地域で「秋と言えば…」と連想するものはなんでしょうか?

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

ペットボトルのキャップをうっかり床に落としてしまい、困った経験のある方は多いのではないのでしょうか。ボトルに戻すためには、キャップを探してきれいにしないとイケないのは、かなり面倒です。

ヨーロッパ出張中、どう頑張っても外れないミネラルウォーターのキャップを見つけました。開閉はキャップを回して簡単に行うことができますが、従来のモデルからデザインが変更されているようで、キャップとボトルネックのリングが外れないようになっています。

この設計変更は、プラスチック製品規制に関するEUの条件を満たすために行われています。ですが、この設計変更は間接的にキャップの落下問題を解決しています。

シンプルな変化ではありますが、私たちの生活をより良くするために役立つでしょう。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

昨年の10月、私は祖母の葬儀のために19年ぶりにスリナムに戻りました。スリナムは良い意味で前向きに変化し、発展を遂げていました。インフラは大幅に改善され、舗装された道路が増えました。滞在中には、その道路に多くの日本車が走行している姿を見ました。

ですが、最近のスリナムでの生活はととても大変で、人々は国外で幸せになる機会を探しているという話を聞きました。2020年末以来、高いインフレによりスリナム国民の購買力はほとんど向上せず、8月の消費者物価は前年同月比で53.5%以上上昇しました。スリナム中央銀行は、今年のインフレ率が約40%に達するとの予想をしています。

しかしスリナムは強力な経済改革を通じ、深い谷から這い上がりつつあります。近年、国際通貨基金(IMF)はスリナムを経済危機から救うべく、数億ドルの融資を行っています。加えてIMFから肯定的な評価が下ったことにより、スリナムは約5,200万ドルを受け取るようになりました。

支援と引き換えに受けなければならなかった大規模な改革では、燃料、電気、ガス、水道の補助金の打ち切りや燃料に対する税金が引き上げられたり、出勤しない公務員への給料が支払われなくなったりと様々なことが行われました。

政府は危機の原因を原油と金の価格下落だと指摘しています。現に国の収入の3分の1はその部門に依存しています。またスリナム沖で新しい油田が発見され、調査されています。

政府の適切な管理・新しい油田により、経済が低迷から抜け出せることを願っています。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)